

令和7年度 市民後見人養成講座のカリキュラム

座学(45時間)

第1ターム：成年後見の基本的な制度・理念・背景に関する学習

1. 日本の高齢社会

- ・高齢社会の理念、あり方

2. 成年後見の制度・法律

- ・成年後見制度概論
- ・任意後見
- ・法定後見
- ・市民後見概論

第2ターム：対象者理解や福祉、後見関連制度・法律に関する学習

1. 対象者の理解と接し方

- ・高齢者の理解
- ・認知症の理解
- ・対人援助の基礎
- ・精神・知的障がい
の理解

2. 成年後見に関連する制度・法律

- ・社会保障制度全般(年金等)
- ・生活保護
- ・地域包括ケア
- ・民事信託
- ・税務申告

3. 地域福祉と権利擁護

- ・障がい者の権利と福祉、差別解消と虐待防止
- ・地域福祉と共生社会

4. 民法の基礎

- ・財産法の基礎(契約、後見人の権限)
- ・家族法の基礎(遺言相続・法定相続)

第3ターム：後見実務や関連機関に関する学習および討論

1. 成年後見の実務と事例

- ・後見人の実務
- ・後見活動の事例
- ・財産管理と身上保護の実務

2. 後見関連機関の役割と実務

- ・家庭裁判所の役割と実務
- ・市町村の取り組み

3. 後見等に関する討論

- ・グループワーク(後見事例等に関する討論)

4. 総括的講義

- ・成年後見の課題と展望
- ・理解度確認テスト

実習(15時間)

第1～3ターム：演習と課題を通じた実践的学習 (座学に並行して実施)

1. 後見実務演習(10時間)

後見開始申立書等の作成

2. 選択課題(5時間)

- ①成年後見制度の普及・啓発活動に関する企画
- ②成年後見に係る業務上・生活上の課題に関する検討
- ③任意後見契約書の作成
- ④エンディングノートと遺言書の作成
- ⑤市民後見法人の設立
- ⑥自己設定課題

※上記6つの課題の中から、実施する課題を任意に1つ選択。

※「⑥自己設定課題」は、自分で課題の内容を独自に決めたうえで実施。